



ビニールハウスで避難生活を送る被災者(26日午後7時すぎ、石川県輪島市門前町和田で)＝佐々木紀明撮影

## 余震で「5弱」警戒続く

### 能登半島地震 激甚災害指定へ

能登半島地震は徐々に余震の回数が減りつつあるが、26日も石川県志賀町で震度5弱を観測する地震が起きるなど、被災地ではしばしば大きな揺れに見舞われた。気象庁によると、27日午前1時までに余震は計228回。26日午後2時46分ごろには、マグニチュード(M)4.8の余震が発生し、志賀町で震度5弱、輪島市と穴水町で震度4を観測した。その後も、輪島市で震度4を記録するM4.4の地震が起きた。

読売新聞のまとめでは、27日午前0時現在、輪島市で女性1人が死亡、石川、富山、新潟の3県でけが人は218人(重傷者24人、軽傷者194人)、全半壊した住宅は計3333棟(全壊96棟、半壊2337棟)。石川県内では午前0時現在、42か所に計1911人が避難している。

26日午後、記者会見した同庁の鉢嶺猛・地震津波監視課長は、「ところによっては震度6弱の揺れが生ずる可能性があり、土砂災害のおそれもあるの」で、復旧作業では十分注意してほしいと、警戒を促した。

一方、内閣府では26日も省庁連絡会議が開かれ、被災地を視察して帰京した溝手防災相は、「被災者には高齢者も多く含まれ、大変おびえている様子だった。一刻も早く安心して暮らせるよう、政府の総力をあげて対応にあたってほしい」と、担当者らに述べた。

石川県によると、断水は27日午前0時現在、輪島、七尾両市、穴水町の計5610世帯に減少した。このうち、輪島市門前町地区の1900世帯は27日朝から送水が再開される。

輪島市社会福祉協議会は26日、市災害対策ボランティア現地本部を開設した。

27日午後1時から受け付けられる。受け付けは午前9時、午後4時。問い合わせは現地本部(0768・42・1945)へ。

#### 災害時の情報 都が専用HP

首都圏で大地震などが発生した際、被災者に交通機関や避難所の情報を即時に知らせるため、東京都は26日、専用ホームページ(H.P.)での情報提供をスタートさせたと発表した。外出先で被災した人向けに携帯電話でもアクセスできるようにして、情報不足による混乱を防ぎたい考えだ。

都内で発生した震度5弱以上の地震や、人的被害をもたらした風水害が対象。専用HPの「発災時のページ」に都が関係機関から集めた情報が掲載される。

アドレスは、パソコンが  
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/index.html>  
 携帯電話は  
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/mobile/index.html>